

# 運営通信

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や経営・活動に関する情報をお伝えするためにお届けしています。

## 春のブロック総代会議を開催します

「2024年度 春のブロック総代会議」を右記の日程で開催します。

春のブロック総代会議では、

- ・ブロック2023年度活動のまとめと2024年度活動方針
- ・ブロックの地域区分理事候補者の報告
- ・第3回通常総代会 議案の事前説明

を行います。

また、少人数に分かれて行う分散会では、「2024年度取組みについて」を中心にご意見をお伺いします。



### ～ 会場案内 ～

- ◆富山ブロック:5月13日(月)10時～12時  
会場:ボルファートとやま 2階ホール
- ◆東部ブロック:5月 8日(水)10時～12時  
会場:中滑川複合施設メリカ 3階ホール
- ◆西部ブロック:5月 9日(木)10時～12時  
会場:西部センター 組合員ルーム

※受付が混み合いますので、9:50までにお越しください。

### Q1、ブロック総代会議とは？

A：毎年春と秋に開催されるブロックでの最高議決機関です。

総代の皆さんには、通常総代会に出席するとともに、それぞれ選出された地区のブロック総代会議に出席していただいています。

春のブロック総代会議では、ブロックの前年度の活動を振り返り、新年度の活動方針を決定していただきます。また、6月の通常総代会に向けて、全体のまとめや方針について理解を深めていただくために、総代会の議案を事前に説明し、さまざまなご意見をいただく機会として開催します。

### Q2、総代の役割とは？

A：生協は、組合員ひとりひとりの「出資」「利用」「運営」で成り立っています。とやま生協の組合員136,992名(3月末日現在)の代表が総代です。

2023年度、富山・東部・西部ブロックから400名の総代を選出しました。

総代には

- ①組合員の目線で確認すること
  - ②ブロック総代会議で、意見や想いを出すこと
  - ③総代会で議決すること
- という大切な役割を担っていただいています。

その役割を果たすために6月の通常総代会と春と秋のブロック総代会議に出席していただいています。

ブロック総代会では、ぜひたくさんの方の意見や想いを出していただくよう、お願いいたします。



← 昨年の春のブロック総代会議の様子

### 【目次】

- 1、春のブロック総代会議を開催します . . . . . 表紙
- 2、重点課題で取り組んだこと . . . . . P 2
- 3、チンドンチームがみなみ店にやってきました . . . . . P 2
- 4、職員を対象にSDGs学習会を開催しました . . . . . P 2
- 5、理事会だより、2月度事業・経営報告 . . . . . P 3
- 6、輝かみいいの竣工式および内見会を開催しました . . . . . P 3
- 7、令和6年能登半島地震支援報告 . . . . . P 4

とやま生活協同組合

<https://www.toyama.coop/>

富山市金屋555

フリーダイヤル

☎：0120-555-192

発行：経営企画G



とやませいきょう

## 重点課題で取り組んだこと

とやま生協では総代の皆さんと総代会で確認した方針に基づき、重点課題を設けて取り組んでいます。

### くらしの安心(3月)

#### ・立山町と「包括連携に関する協定」を締結しました

3月28日(木)、立山町と、とやま生協が相互の緊密な連携と協力により、双方の資源を有効に活用した取り組みを推進し、立山町におけるさらなる町民サービスの向上、町民生活の利便性向上および地域活性化の助けとなることを目的とし、「包括連携協定」を締結しました。

とやま生協が県内市町村との包括連携協定を締結するのは、魚津市・富山市・高岡市に続いて4例目となります。

立山町長より「立山町では地域の買い物支援としてとやま生協の移動販売車が運行されるようになったことから、今回の協定締結につながりました。町民のみなさんにとやま生協のサービスや取り組みを知っていただき、くらしやすい地域づくりにつなげていくことができればと思います」と挨拶がありました。

小泉理事長は「とやま生協は理念の実現に向けて、また、持続可能な社会をつくるために、行政や地域との連携が不可欠と考えています。組合員だけでなく町民の皆さんと一緒に取り組めることがあると思いますので、ともにくらしやすい社会を実現していきたいと思います」と挨拶を述べました。

#### 《立山町との包括連携協定締結項目》

- ①脱炭素社会の実現に関する事
- ②地域見守りに関する事
- ③子育て支援に関する事
- ④高齢者福祉に関する事
- ⑤買い物支援に関する事
- ⑥災害時対応支援に関する事
- ⑦その他、市民生活の利便性や地域活性化に関する事



(左)舟橋 立山町長、(右)小泉理事長

## チンドンチームがみなみ店にやってきました

4月6日(土)、「第70回全日本チンドンコンクール」出場のチンドンチーム「囃子家」と「華乃家」の2組がとやま生協みなみ店でパフォーマンスを披露してくださいました。

「華乃家」さんは昨シーズンの朝ドラ「ブギウギ」にも出演されたチンドンチームです。

とやま生協のトラックを模した被り物で、とやま生協特別バージョンでのパフォーマンスを披露すると、チンドン目当てに来られた方はもちろん、お買い物中に居合わせた方も皆さんチンドンの軽やかな音色にひかれ、店頭に集まりました。



(左) 囃子家、(右) 華乃家

## 職員を対象にSDGs学習会を開催しました

昨年9月4日(月)、とやま生協と三井住友海上火災保険株式会社がSDGs推進に向けて相互に連携を強化し取り組むことで、地域社会の持続可能な発展に寄与することを目的とし、「SDGs推進に関する包括連携協定」を締結しました。

3月22日(金)、三井住友海上火災保険株式会社 大塚富山支店長を講師にお招きし、「SDGs学習会」を開催しました。

当日は「企業がSDGsに取り組む意義」と、「生協とSDGsとの関わりについて」を改めて学習し、また、カードゲーム体験を通じてSDGsに対する理解を深めました。

(上) 企業がSDGsに取り組む意義の講演  
(下) カードゲームでSDGsについて考える →





## ◇話し合われたこと

### (承認事項)

1. 2023年度2年度の事業・活動および経営報告の件
2. 2024年度方針の件
  - (1) 2023年度経営見通し
  - (2) 2024年度経営計画(案)
  - (3) 2024年度実施計画(案)
3. 2023年度第4四半期まとめと2024年度第1四半期方針
4. 役員人事委員会答申
  - (1) 役員選任候補者決定の件
  - (2) 執行役員制度一部変更の件
  - (3) 執行役員選任の件
  - (4) 顧問選任と報酬の件
5. 就業規則及び給与規程改訂の件

### (主な協議事項)

1. 2023年度剰余金処分の考え方

### (主な確認事項)

1. 第3回通常総代会運営役員の件
2. 2024年度春のブロック総代会議開催の件
3. 2023年度みなし自由脱退取り扱いの件
4. 立山町との「包括連携に関する協定」締結の件

## ◇2月度 事業・経営報告

### (全体経営報告)

- ・総事業高は14億573万円で、予算比 93%、予算差-1億896万円です。
- ・経常剰余金は231万円で、予算差-2,690万円の実績です。

### (機関運営、組合員活動報告等)

- ・2月12月から4月5日の間の6週間、コープいしかわへの配送応援に延べ13名の職員を派遣しました。また、2月17日には能登町での炊き出しに、とやま生協から5名のボランティアが参加しました。
- ・2月5日から全国の生協と共済連からの24名の支援者と共に、氷見市の共済加入組合員にお見舞い・異常災害見舞金訪問を実施しました。1月29日からの訪問と合わせ1,033件を訪問し、190件の見舞金を受付けました。
- ・2月24日の「福島の今を知る学習会」は、福島交流視察の参加者を含め55名の参加で開催しました。『福島県沿岸漁協の復興の歩みと「復興と廃炉の両立」に向けた課題』の講演、視察交流ツアーの報告等があり、忘れないでほしいとの声を受け止め、引き続き応えていくことを確認しました。
- ・組合員活動参加は、ブロック協議会・委員会に160名が参加、34の地域会で32回・188名、せいきょうクラブ9回で51名の参加がありました。

## 輝かみいいの 竣工式および内見会を開催しました

5月1日(水)に新しい福祉施設「輝かみいいの」を開設するにあたり、4月11日(木)に「竣工式」を開催しました。

はじめに小泉理事長より「輝かみいいのはこれまでの福祉施設の経験を活かし、職員の要望を取り入れて準備を進めてきたので、利用者の皆さんには快適に過ごしていただけたらと思います。住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、輝かみいいのがお役に立てるよう取り組んでいきます」と挨拶がありました。

宮島施設長からは、輝かみいいのを一本の苗木に例え、「輝かみいいのという苗木を植えるために、たくさんの方が力を貸してくれました。まだ小さな苗木ですが、利用者やスタッフが光や雨となって輝かみいいのを大きな木に育てていくと思います。

大地に根を張り、木陰をつくり、雨風をしのげる大きな木となって、地域の方の憩いの場になるよう、スタッフと一緒に頑張っていきます」と決意表明がありました。

また、4月12日(金)・13日(土)に組合員、近隣住民を対象にした「内見会」を開催しました。

施設の周辺にお住まいの方や、福祉施設の利用を検討している方など、2日間で139名の方が「輝かみいいの」を訪れました。



(上) 竣工式の様子  
(下) 内見会の様子



# 令和6年能登半島地震支援報告

## ◆富山県へ「令和6年 能登半島地震義援金」を贈呈

3月12日（火）富山県庁にて、「令和6年能登半島地震義援金」の贈呈式を行いました。

「令和6年能登半島地震」では、富山県内でも震度5強の揺れを観測し、氷見市や高岡市伏木地区など県西部エリアを中心に断水や液状化、家屋の倒壊が発生しました。

とやま生協では、地震発生直後より県内の被災地域への物資支援やボランティア活動、石川県への支援活動に取り組んでいます。

今回の地震で被災した方々を支援するため、組合員に「令和6年能登半島地震緊急募金」への協力を呼びかけ、総額21,723,816円の善意が寄せられました。

今回、組合員・お取引先から寄せられた募金から、義援金として10,000,000円を富山県に、11,723,816円（予定）を石川県に贈呈します。

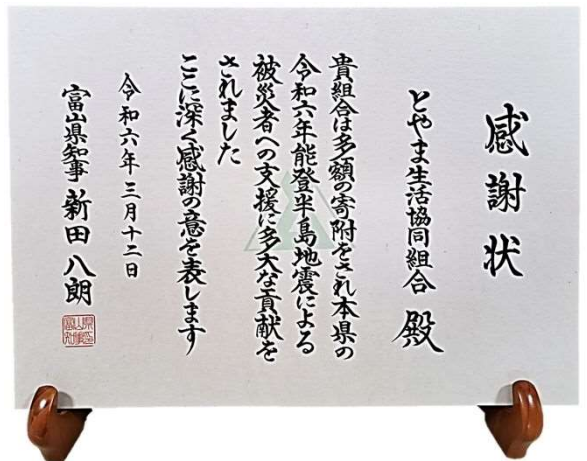


（左から）寺岡専務理事、  
新田 八朗 富山県知事、小泉理事長

謹啓 早春の候、貴組合にはますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。  
日頃から、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。  
さて、このたびは、本年一月に発生した令和6年能登半島地震により被災された方々を支援するため、本県に多額のご寄附をいただき、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。  
このたびのご寄附は、貴組合の被災者支援に対する真摯な思いの表れであり、心から敬意を表し、感謝申し上げます。  
今回の地震により、県内では、人的被害のほか、多数の家屋が損壊するなど極めて大きな被害が発生しました。県では、市町村や関係機関等と連携して一日も早い被災者の生活再建等に取り組んでいるところであります。このたびのご寄附は誠に意義深いものがあります。  
ご芳志につきましては、その趣旨に沿い、県や関係団体、そして、県内の全市町村で構成する配分委員会において、今後、配分額を決定のうえ、各市町村を通じて、被災された方々へ配分させていただきます。  
末筆ながら、この度のご芳志に重ねて深く感謝申し上げますとともに、貴組合の限りなくご発展と小泉謙二代表理事理事長をはじめ組合員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。  
令和六年三月十二日  
富山県知事 新田 八朗 謹言

とやま生活協同組合  
代表理事理事長 小泉 謙二 様

礼 状



富山県よりお礼状をいただきました

## ◆石川県への支援

実施日：3月16日（土）

場所：石川県能登町「小間生（おもう）公民館」

支援者：9名（富山県生協連2名・とやま生協7名）

支援内容：

大阪府生協連合会が主催し、富山県生協連と連携して石川県能登町の避難所となっている「小間生公民館」で炊き出しを行いました。

当日は、炊き込みご飯と焼きうどんを提供し、用意していた各250食分を皆さんにお配りしました。

職員7名は、「少しでも地域の皆さんが笑顔になっていただきたい」「自分ができることを何かしたい」という思いで今回のボランティアに参加しました。



小間生公民館

